

(別表) 2021年度事業の点検・評価及び2022年度の事業計画 (詳細)

※ [] は特に重点をおいて取り組む事業

事業計画の評価区分		
評価区分	目標達成状況 (評価の目安)	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満
—	対象年度に、事業の実施が無い等により、評価不能の場合	

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	障害者、高齢者、外国人などのニーズに即した図書館サービスを推進します。安全で快適かつ魅力的で利便性の高い施設環境を整備し、多様な交流と学習、探求、発見、賑わいの場を提供し、多様な利用者のそれぞれの居場所となれる図書館を目指します。	(障害のある方へのサービス) (1) 視覚障害者等への朗読サービスを行う新規ボランティアを募集し、養成講座を開催します。	○朗読協力員養成講座の初級講座 (全13回) を開催、11名が受講した。	—	A	朗読協力員養成講座の初級講座を実施し、新たな朗読協力員を養成することができたため。	(障害のある方へのサービス) (1) New! 視覚障害者等への朗読サービスを行うボランティア養成講座 (中級) を開催します。
			(2) New! 社会生活を営む上でハンディキャップのある方への理解を深めていただくための資料の展示会や障害者の方の作品展などの企画展示事業を1回以上実施します。	○「見えにくい・見えにくくなってきた人の読書サポート体験イベント」を実施した。(7/3) ○企画展示「あいちアール・ブリュット作品展」を実施した。(1/14~3/1) 【連携先：障害福祉課】	—	A	目標を上回る2回のイベント・展示を実施し、社会生活を営む上でハンディキャップのある方への啓発機会を作ることができたため。	(2) 継続実施
			(高齢者の方へのサービス) (3) 感染症拡大防止に注意を払いながら、資料の展示会の実施などの代替企画の実施も念頭に置き、一般向けの健康講座を実施します。	○企画展示「つながる・つなげる認知症ブックステーション2021」を実施した。(9/10~11/10) 【連携：県高齢福祉課、(公社)認知症の人と家族の会】	—	B	感染症拡大防止のため、健康講座の実施は見送ったが、資料の展示を行うことができたため。	(高齢者の方へのサービス) (3) 継続実施
			(4) 読書補助具の点検を行い、必要に応じて更新等を実施します。	○各カウンターで日常的に点検した。	A	A	日常的に点検を実施しているため。	(4) 継続実施
			(外国人県民の方へのサービス) (5) 多文化サービスコーナーを充実するため、各外国語図書 (日本語学習用資料を含む。) について、100冊を目標に収集します。	○各外国語図書 (日本語学習用資料を含む。) について、112冊 (うち電子書籍9冊) を収集した。	A	A	目標を上回る112冊を収集できたため。	(外国人県民の方へのサービス) (5) 継続実施
			(6) 多様な外国人県民の方への多文化サービスコーナーの周知を図るため、広報の改善を検討、実施します。	○「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成し、当館ホームページに公開した。	A	A	当館ホームページに、既存の外国語4か国語に加え「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成したことで、多様な外国人県民の方へのコーナー周知の方法改善を実施できたため。	(6) 多文化サービスコーナーの活用を図るためコーナーの利便性向上や効果的な広報に努めます。
			(子育て支援サービス) (7) 2020年3月から休止している「おはなし会」の代わりに、家庭での読み聞かせ等に参考になる動画を作成し、YouTube愛知県図書館チャンネルで公開します。	○新規に動画3本を公開した。	A	A	家庭での読み聞かせに参考となる動画を3本公開できたため。	(子育て支援サービス) (7) 「おはなし会」を、安全対策をとり実施します。
			(8) 「おはなし会」を、安全対策をとり再開する準備をします。	○職員によるおはなし会を再開した後、従前より回数や参加人数を減らし、サポーターによるおはなし会を再開、計16回のおはなし会を実施した。	A	A	感染症拡大防止に留意しながら、おはなし会を再開できたため。	(8) 継続実施
			(9) 子育ての方に役立つ他の機関や団体のチラシやパンフレット類を常備し、案内・配布します。	○美術館・博物館・資料館などの子ども向けのイベントのチラシや配布物を児童室の入口に常備し、配布した。	B	A	美術館・博物館などの子ども向けのチラシ等の配布により、子育てに役立つ情報を提供できたため。	(8) 継続実施

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	障害者、高齢者、外国人などのニーズに即した図書館サービスを推進します。安全で快適かつ魅力的で利便性の高い施設環境を整備し、多様な交流と学習、探求、発見、賑わいの場を提供し、多様な利用者のそれぞれの居場所となれる図書館を目指します。	(施設環境・学習環境の整備)					(施設環境・学習環境の整備)
			(10) New! 来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に整備します。	○Aichi_Free_Wi-Fiを全館(1階から5階共用スペースにて)運用開始した。(8/1)	—	A	Aichi_Free_Wi-Fiを全館的に整備し運用開始できたため。	(9) 来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に運用します。
			(11) 施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・資料支援課事務室天井部雨漏り対策工事 ・照明制御設備更新工事 ・高圧進相コンデンサ等更新工事 ・多機能リレー更新工事	○以下の工事を実施した。 ・資料支援課事務室天井部雨漏り対策工事(12月完了) ・照明制御設備更新工事(1月完了) ・高圧進相コンデンサ等更新工事(3月完了) ・多機能リレー更新工事(3月完了) ・雑用給水ポンプユニット取替修繕(3月完了) ・5階及び3階雨漏り対策工事(3月完了) ・駐車場出入口拡張工事(3月完了)	A	A	当初予定していた事業計画以上の工事を実施できたため。	(10) 施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・制御・非常照明用直流電源装置更新工事
			(12) 若者や社会人の学習活動を支援するため、感染症拡大防止(「3密」回避)に留意しながら、大会議室での学習室開放を実施します。	○年間計26日開放した。	A	A	感染症拡大防止に留意しながら、前年度(17日)を上回って開室を実施できたため。	(11) 継続実施
			(入館者数・利用者の満足度)【運営指標・数値目標見直し】					(入館者数・利用者の満足度)【運営指標・数値目標見直し】
			(13) 利用者のニーズに応えるサービスの提供につとめ、年間38万5千人以上の入館者数をめざすと同時に、90%以上の方が来館の目的を達成できるよう資料やサービス環境を整備します。	○年間入館者418,219人(前年度341,146人)(70%補正後の進捗率:109%) ○来館者アンケートによる目的達成率85.6%	A	B	年間入館者数については目標値を上回り、来館者アンケートの目的達成率はやや下回ったため。	(12) 利用者のニーズに応えるサービスの提供につとめ、年間44万人以上の入館者数をめざすと同時に、90%以上の方が来館の目的を達成できるよう資料やサービス環境を整備します。
			(危機管理)					(危機管理)
			(14) New! 図書館業務の在り方(拡充、継続、縮小、中断業務等)についての調査・検討結果を踏まえ、地方機関BCP(業務継続計画)の見直しを行うとともに、適切に事業継続できる体制を整えます。	○地方機関BCP(業務継続計画)の見直しを行った。(1月完了)	—	A	当初予定していた事業計画通りの見直しを実施できたため。	(13) 新型コロナウイルスや災害への対応について、業務継続計画(愛知県庁BCP、地方機関BCP)の運用や防災訓練の実施等により、適切に事業継続できる体制を整えます。
			(15) New! 講演会などのイベントや図書館見学・実習の実施に関して、緊急事態宣言等が発出された場合について、統一した運用ができるよう規程類を整備します。	○「感染症拡大防止措置ごとの企画展示実施の基準」を策定した。(施行10/21)	—	A	イベントについて「感染症拡大防止措置ごとの企画展示実施の基準」を策定したため。	(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)
			(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)					(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)
(16) 感染症拡大防止のため外出の自粛等「新しい生活様式」の励行が強く求められていることから、電子書籍サービスの充実やオンライン利用登録の導入等を検討し、非来館型サービスの充実を図ります。	○新規電子書籍を143点購入した。 ○オンラインによる利用登録申請受付を開始した。(1/26)	A	A	電子書籍の充実を図るとともに、オンラインによる利用登録申請受付を開始し、来館しなくても電子書籍を利用することができるようになったため。	(14) 継続実施			
(17) New! アンケートの実施等により、利用者層、利用目的等を把握し、今後のサービス内容検討のための資料とします。	○電子書籍アンケートをWeb上で実施した。(9/17~10/1)(回答者:44名) ○来館者アンケートを実施した。(2/25・26)(回答者:668名)(回収率:66.8%)	—	A	2種類のアンケートの結果が利用者層、利用目的の把握につながり、今後のサービス内容を検討するための資料とすることができるため。	(15) 継続実施			

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	地域の課題解決に役立つ図書館をめざします。ビジネス支援を拡充し、健康・医療サービス、行政支援などのサービスに取り組みます。また、地域の活性化や観光振興などのため、県内各地の取組を紹介したり、交流の場を提供します。	(レファレンス事例の公開登録) (18) 国立国会図書館のレファレンス協同データベースに、事例を20件以上登録します。	○年度末までに計20件の事例を登録した。 (2021年度現在 累計421件)	A	A	計画どおり、20件のレファレンス事例を登録することができたため。	(レファレンス事例の公開登録) (16) 継続実施
			(行政支援サービス) (19) 県職員向け「県図書だより」を年間2回以上発行します。	○2022年2月及び3月の2回発行した。	A	A	年2回刊行し、オンラインによる利用登録申請受付開始などを周知させることができたため。	(行政支援サービス) (17) 継続実施
			(20) New! 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特徴（ものづくり等）に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。	○以下の企画展示を実施した。 ・企画展示「あいちの観光～あいちのダイスキな場所やモノ見つけよう～」(7/9～9/8)【連携先：県観光振興課】 ・企画展示「スポーツを読んで楽しもう！」(7/9～9/8)【連携先：県アジア競技大会推進課】 ・企画展示「ジブリパーク、開園まであと1年」(7/9～9/8)【連携先：県ジブリパーク推進課・県美術館】 ・企画展示「愛知県における東京2020オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルのメモリアル展」(8/13～9/8)【主催：県スポーツ振興課】 ・企画展示「令和3年度愛知県定時制通信制生徒による作品展 オンリーワンが大集結」(9/10～10/13)【主催：愛知県定時制通信制教頭・副校長会、後援：愛知県図書館】 ・企画展示「青少年によい本をすすめる県民運動」(9/10～11/10)【連携：県社会活動推進課】 ・企画展示「国際果実野菜年2021」(9/10～11/10)【連携：県園芸農産課】 ・企画展示「つながる・つなげる認知症ブックステーション2021」(9/10～11/10)【連携：県高齢福祉課、(公社)認知症の人と家族の会】 ・企画展示「愛知の空港PR写真展」(10/15～11/10)【連携：県航空空港課】 ・パネル展示「北朝鮮による拉致問題」(11/12～12/8)【連携：県国際課】 ・ポスター掲示「ITS（高度道路交通システム）について」(11/12～12/8)【主催：県交通対策課】 ・企画展示「開館30周年記念・あいちのものづくり—伝統・未来—」(11/12～1/12)【連携：県産業振興課】 ・人権啓発展示「人権のほんだな。2021ジェンダー」(12/10～2/9)【連携：県人権推進課】 ・「愛知県政150周年展示 愛知県事始め(1)愛知県の誕生」(12/10～3/1)【連携：県企画課】 ・企画展示「あいちオール・ブリュット展」(1/14～3/1)【連携先：障害福祉課】 ・企画展示「第65回愛知県統計グラフコンクール入賞作品展」(2/11～3/1)【連携先：県統計課】	—	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(18) 継続実施

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	地域の課題解決に役立つ図書館をめざします。ビジネス支援を拡充し、健康・医療サービス、行政支援などのサービスに取り組みます。また、地域の活性化や観光振興などのため、県内各地の取組を紹介したり、交流の場を提供します。	(ビジネス支援サービス) (21) ビジネス支援に関する講演会等の企画や関連資料の展示事業を専門機関や外部の団体と連携して実施します。	○企画展示「事業承継・起業を応援します！」を実施。(1/14~3/1) 関連イベントとして、日本政策金融公庫と連携してオンラインセミナー「起業のコツを落語で学ぶ！」を開催。(2/6)	A	A	専門機関や民間団体と連携した企画展示を実施し、関連イベントについても感染症拡大防止に配慮してオンライン配信で実施できたため。	(ビジネス支援サービス) (19) 継続実施
			(利用者向け図書館利用講座の実施等) (22) 利用者の調査研究を支援するため、館備え付けのデータベースの活用講座などを実施するとともに、機器配置の再検討など利用しやすい環境整備を行います。	○データベースの活用講座を2月に実施予定だったが、まん延防止等重点措置の発出に伴い中止した。 ○データベースの利用者増加に対応するため機器配置の変更を実施した。	A	B	データベースの活用講座について、感染症拡大防止のため実施を中止したが、データベースの機器配置の変更については予定通り実施できたため。	(利用者向け図書館利用講座の実施等) (20) 利用者の調査研究を支援するため、館備え付けのデータベースの活用講座などを実施します。
			(行政機関・関係団体との連携・協力) (23) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特長(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。 《(20)の再掲》	《(20)と同様》	A	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(行政機関・関係団体との連携・協力) (21) 継続実施《(18)の再掲》
			(24) New! 2022年度が本県県政150周年であることから、来年度実施する関連企画展示を企画・立案します。	○関連企画展示を企画・立案。年間を通して5回程度の展示を開催予定。先行して「愛知県政150周年関連展示 愛知県事始め(1) 愛知県の誕生」(12/10~3/1)を開催した。	-	A	2022年度における県政150周年に関連する企画展示について、企画・立案をすることができたため。	(22) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。
			(地域連携) (25) 観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。	○県内自治体、市町村立図書館、観光協会等関係機関に観光情報の提供を依頼し収集・提供を実施した。	A	A	幅広い観光情報の収集・提供を実施し、コーナーの充実を図ることができたため。	(地域連携) (23) 継続実施
			(26) 東三河コーナーについて、県東三河総局、東三河8市町村の観光関係当局等と連携・協力し、東三河の観光情報の幅広い収集・提供を実施します。また、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施します。	○「愛知県図書館と東三河地域の市町村及び観光団体との地域振興に係る情報発信の連携・協力に関する協定」の連携先である東三河地域の市町村(8自治体)及び観光団体(10団体)に観光情報の提供を依頼し収集・提供を実施した。 ○東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施した。 ・展示「東三河花の旅」(4/9~6/9) ・展示「第10回穂っとネット東三河 フォトコンテスト入賞作品展」(3/17~4/13) 【連携：県東三河総局】	A	A	幅広い観光情報の収集・提供及び、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施することができたため。	(24) 継続実施
	③ 学校や地域、家庭での子供読書活動の支援	子供の読書活動を支援するため、学校図書館を始め関係機関・団体と連携し、資料の提供や、活動への支援を進めます。	(県立学校への協力貸出) (27) 県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。対象校を17校以上にします。	○春日井西高校、瀬戸北総合高校に対し市町村立図書館を経由した協力貸出を開始し、対象校を17校とした。 ○豊田市中央図書館に対し、館を通じての市内県立高等学校への貸出を行うことを依頼した。(7/7) ○司書教諭研修会(10/1)、高等学校初任者研修(10/12)で高校支援サービスについて説明した。	B	A	研修会等で県立学校のニーズを確認し、計画通り、対象校を17校とすることができたため。	(県立学校への協力貸出) (25) 県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。対象校を19校以上にします。
			(28) 県図書館から学校(図書館)に向けて年間2,000冊以上の協力貸出を目指します。(市町村立図書館への協力貸出と合わせて12,800冊以上)【運営指標・数値目標見直し】	○年間協力貸出点数：3,467点(市町村立図書館への協力貸出と合わせて14,832点)	A	A	予定の冊数を上回り、また昨年度の貸出冊数を上回る協力貸出を実施することができたため。	(26) 県図書館から学校(図書館)に向けて年間3,500冊以上の協力貸出を目指します。(市町村立図書館への協力貸出と合わせて16,100冊以上)【運営指標・数値目標見直し】

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	③ 学校や地域、家庭での子供読書活動の支援	子供の読書活動を支援するため、学校図書館を始め関係機関・団体と連携し、資料の提供や、活動への支援を進めます。	(県立高校等と連携した企画展示の実施)					(県立高校等と連携した企画展示の実施)
			(29) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上実施します。	○企画展示「令和3年度愛知県定時制通信制生徒による作品展 オンリーワンが大集結」を実施した。(9/10~10/13)【主催：愛知県定時制通信制教頭・副校長会、後援：愛知県図書館】	A	A	県内の定時制・通信制高校の文化部所属生徒の作品を展示することができたため。	(27) 継続実施
			(子供読書活動のためのアウトリーチ活動の推進)					(子供読書活動のためのアウトリーチ活動の推進)
			(30) 子供の読書活動推進のため、読み聞かせやブックトークといったイベントでの協力、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。	○以下の講座に講師・協力スタッフを派遣した。 ・県立高等学校司書教諭研修会(10/1)【県教委：高等学校教育課】 ・高等学校初任者研修(10/12)【県高等学校校長会】 ・吉良高等学校図書館教養講座(10/27) ・豊橋西高等学校(県政お届け講座)(10/27) ・令和3年度愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会 2021(11/3)【主催：県教委生涯学習課】	A	A	県立学校の教師のための研修講師、生徒のための出張ブックトークなどを行ったため。	(28) 継続実施
			(子供読書活動の推進)					(子供読書活動の推進)
	(31) 子供読書活動推進に係る関係機関や団体等と連携・協力し、イベントや企画展示を実施します。	○以下のイベントや企画展示を実施した。 ・本の帯コンクール優秀作品展(6/11~6/20)【連携：名古屋市】 ・企画展示「青少年によい本をすすめる県民運動」(9/10~11/10)【連携：県社会活動推進課・愛知県青少年育成県民会議】 ・令和3年度愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会 2021(11/3)【県教委：生涯学習課】	A	A	子供読書推進のため、関連機関と連携して資料の展示を実施し、高校生ビブリオバトル愛知県大会では、高校生や子供読書に係る人向けに、県図書館の紹介を行ったため。	(29) 継続実施		
	(団体貸出の調査)							
	(32) 団体のニーズ把握に努め、協力貸出による資料提供の可能性を検討します。	○他県の都道府県立図書館の団体貸出について、運用状況の調査を行った。	C	B	ニーズ把握のため、都道府県立図書館について運用状況調査を行うことができたため。	完了		
	④ 資料保存体制の整備及びデジタル化の推進	県の拠点図書館としての資料保存の中心的な役割を果たすために、資料保存体制を整備するとともに、地域資料を中心にデジタル化を進めます。	(あいちラストワン・プロジェクトの拡大)					(あいちラストワン・プロジェクトの実施)
			(33) 図書館未設置自治体へのあいちラストワン・プロジェクトの説明・意向確認調査を継続します。	○豊山町社会教育センター図書室を訪問し、あいちラストワン・プロジェクトの説明を行った(8/19) ○当館を訪問した東栄町教育委員会の担当者に対し、説明を行った。(11/26)	-	B	一部施設に説明を行うことができたため。	(30) あいちラストワン・プロジェクトを効果的に進めるため、運用方法の見直しを進めます。
(資料補修研修の実施)					(資料補修研修の実施)			
(34) 資料補修技術を有する職員養成のため、引き続き研修を実施します。	○館内職員向けの資料保存研修を実施した。(6/10、7/8) ○愛知図書館協会による資料保存研修を実施した。(1/27)	A	A	資料補修技術を有する職員養成のための研修を実施することができたため。	(31) 資料補修技術を有する職員養成のため、引き続き研修を実施します。			
(35) 資料補修研修については、実習の関係上、参加人数が限られることから、未参加者にも知識や技法を教授するツールを開発します。	○1月に開催した愛知図書館協会資料保存研修の録画映像を未参加者に配信した。(2月) ○当館職員による資料補修実演動画をYouTube愛知県図書館チャンネルで配信した。(3月)	C	A	資料補修研修を未参加者も閲覧ができるようにすることができたため。				

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
1 館す さべ ーの スの 民 提へ の 図 書	④ 資料保存 体制の整 備及びデ ジタル化 の推進	県の拠点図書館としての資料保存の中心的な役割を果たすために、資料保存体制を整備するとともに、地域資料を中心にデジタル化を進めます。	(資料のデジタル化の推進) (36) 貴重和本の撮影済みデータや、自館でデジタル化したデータを順次調査し、「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開します。(目標：10タイトル)	○貴重和本のうちデジタル化したデータを調査し、「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで12タイトルを公開した。	A	A	目標を上回る、12タイトルを公開できたため。	(資料のデジタル化の推進) (32) New! 貴重和本を新たにデータ化し、順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開します(目標：8タイトル)
			(蔵書収容能力の維持・管理) (37) 開架及び閉架書庫の有効活用を図るため、適切な計画に基づく書庫への配転作業及び除籍候補選定のための複本所蔵資料の調査を実施します。	○開架図書8,788冊を書庫に配転し、複本所蔵資料156冊を除籍した。	B	A	計画的に書庫への配転作業を行い、複本資料の除籍については調査の上、除籍処理まで実施することができたため。	(蔵書収容能力の維持・管理) (33) 継続実施
2 市町 村立 図書 館等 への 支援	⑤ 協力貸 出、相 互貸借 の拡 充	市町村立図書館等との間で運行している資料搬送定期便の効率的な運用により、協力貸出、相互貸借の拡充を図ります。	(市町村立図書館等への協力貸出)【運営指標・数値目標見直し】 (38) 県図書館から市町村立図書館に向けて年間10,800冊以上の協力貸出を目指します。(学校(図書館)への協力貸出と合わせて12,800冊以上)	○年間協力貸出点数：11,365点(学校(図書館)への協力貸出と合わせて14,832点)	B	A	目標冊数を達成することができたため。	(市町村立図書館等への協力貸出)【運営指標・数値目標見直し】 (34) 県図書館から市町村立図書館に向けて年間12,600冊以上の協力貸出を目指します。(学校(図書館)への協力貸出と合わせて16,100冊以上)
			(資料搬送定期便の維持) (39) 安定した資料搬送のため、予算確保や運行の効率化に努め、週1回の資料定期搬送便を維持します。	○年間を通し、週1回の資料定期搬送便の運行を行った。市町村立図書館職員に適切な利用方法を周知するとともに、2022年3月から1年間の業者との契約も行った。	A	A	年間を通して、週1回の資料定期搬送便の運行を行うことができたため。	(資料搬送定期便の維持) (35) 継続実施
			(協力貸出の流通状況の調査) (40) New! 協力貸出データの分析だけでなく、市町村立図書館からの購入リクエストや、市町村立図書館が県外から取り寄せた資料の分析など、潜在的な需要も含めた把握のための手法を検討します	○昨年度行った協力貸出データの分析に加え、市町村立図書館の購入リクエストや、県外から取り寄せた図書について調査を行い、愛知県以外の地域資料、高額の研究書・専門書、発行年の古い図書等様々な図書が県外から取り寄せられていることを確認した。	-	B	市町村立図書館に対して調査し、分析することができたため。	完了
			(図書館訪問) (41) 県図書館の市町村立図書館へのサポートのニーズを把握し、それぞれの地域での読書推進活動に資するため、感染症の動向を考慮に入れながら、市町村の中央図書館の1/5以上(10館以上)を計画的に訪問します。感染症が収束せず、計画通りの訪問が難しい場合は、訪問以外の方法で市町村立図書館と情報交換を行い、サポートに努めます。	○豊田中央図書館(7/7)、豊橋中央図書館(7/8)、刈谷中央図書館(7/14)、田原中央図書館(8/12)、名古屋市鶴舞中央図書館(9/16)、瀬戸市立図書館(10/8)、小牧市立中央図書館(11/18)、稲沢市立中央図書館(11/26)、あま市美和図書館(1/7)、半田市立図書館(1/13)を訪問した。	D	A	計画通りの館数を訪問することができたため。	(図書館訪問) (36) 継続実施
⑥ 市町村立 図書館等 の運用・ 人材育成 の支援	市町村立図書館等が地域の課題解決に資する質の高いサービスを提供できるよう、運用・人材育成を支援します。	(42) 図書館未設置自治体についても、公民館図書室等の施設や読書推進活動の担当課等を1以上訪問し、図書館未設置自治体での読書推進活動を把握します。	○豊山町社会教育センター図書室を訪問した。(8/19) ○貸出文庫利用図書室については、訪問できなかった施設も、当館訪問時や電話にて連絡を行った。	B	A	計画通りの館数を訪問することができたため。	(37) 継続実施	

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
2 市町村立図書館等への支援	⑥ 市町村立図書館等の運用・人材育成の支援	市町村立図書館等が地域の課題解決に資する質の高いサービスを提供できるよう、運用・人材育成を支援します。	(県内の図書館関係者への研修の強化) (43) 愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、感染症拡大防止策を講じながら、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。	○以下の研修を実施した。 ・愛知図書館協会児童サービス研修は受講者数を減らし感染防止対策を徹底して集合研修として実施した。(6-12月) ・レファレンスサービス研修は 課題添削やWeb講義の形式を併用して実施した。(10-12月) ・資料保存研修は 感染防止対策を徹底して集合研修として実施した。(1/27) ・愛知県公立図書館長協議会第1回研修を動画配信により実施(7-9月)、第2回研修は感染防止対策を徹底して集合研修として実施し(12/3)、第3回研修はWeb会議で開催した。(2/17) ・ヤングアダルトサービス連絡会は感染防止対策を徹底して集合研修として実施した。(11/5)	B	A	研修内容と感染の状況を踏まえ、適切な内容の研修を年間を通して実施することができたため。	(県内の図書館関係者への研修の強化) (38) 継続実施
			(文化芸術機関等との連携) (44) 愛知芸術文化センター(栄施設)の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会等の企画展示を実施します。	○以下の講演会や企画展示を実施した。 ・企画展示「ジブリパーク、開園まであと1年」(7/9~9/8)【連携先：県ジブリパーク推進課・県美術館】 ・第1回文化芸術に関する連続講座(講師：県芸術劇場・唐津エグゼクティブプロデューサー、演題：ダンスと物語)(6/10)→※緊急事態宣言発出のため中止。代替措置として動画で紹介。関連資料展示を実施。(5/14~9/8) ・第1回リベラルアーツカフェ開催(講師：県立芸大・井上さつき教授、演題：楽器大国ニッポン)(7/21)(参加者：50人) ・第2回文化芸術に関する連続講座開催(講師：県美術館・越後谷卓司主任学芸員、演題：映画の声を聴く)(9/8)→※緊急事態宣言発出のため中止。代替措置として動画で紹介。関連資料展示を実施。(5/14~9/8) ・第3回文化芸術に関する連続講座(講師：県陶磁美術館・田畑潤学芸員、演題：華*花 四季の花と中国陶磁史)(10/21)(参加者：18人) ・第4回文化芸術に関する連続講座(講師：あま市七宝焼アートヴィレッジ・小林弘昌館長)(11/17)(参加者：25人) ・企画展示「あいちアール・ブリュット作品展」(1/14~3/1)【連携先：障害福祉課】	A	A	愛知芸術文化センター、陶磁美術館、愛知県立大学、愛知県立芸術大学などの専門家による講演会、並びに障害福祉課との連携によりアート雇用の障害者による作品展を実施することができたため。	(文化芸術機関等との連携) (39) 継続実施
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑦ 様々な団体・行政機関と連携する場の提供	各種団体や行政機関と連携して講演会や資料展示会等を開催し、県民の方と県図書館、各種団体及び行政機関が持つ知的資源を結び付けます。	(行政機関・関係団体との連携・協力) (45) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特長(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。《(20)の再掲》	《(20)と同様》	A	A	県各局と連携・協力して、県の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	(行政機関・関係団体との連携・協力) (40) 継続実施《(18)の再掲》
			(46) New! 2022年度が本県県政150周年であることから、来年度実施する関連企画展示を企画・立案します。《(24)の再掲》	《(24)と同様》	-	A	2022年度における県政150周年に関連する企画展示について、企画・立案をすることができたため。	(41) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。《(22)の再掲》

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑦ 様々な団体・行政機関と連携する場と機会の提供	各種団体や行政機関と連携して講演会や資料展示会等を開催し、県民の方と県図書館、各種団体及び行政機関が持つ知的資源を結び付けます。	(県立高校等と連携した企画展示の実施) (47) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上実施します。《(29)の再掲》	《(29)と同様》	A	A	県内の定時制・通信制高校の文化部所属生徒の作品を展示することができたため。	(県立高校等と連携した企画展示の実施) (42) 継続実施《(27)の再掲》
			(県公文書館との連携) (48) New! 県公文書館と連携・協力して、県図書館と県公文書館が所蔵する地域資料・県関係行政資料の利活用を促進します。	○横断検索システムでの連携について調整中である。 ○ポーンデジタル資料の対応について協議中である。	—	B	利活用促進に向けて、調整・協議を進めることができていたため。	(県公文書館との連携) (43) 継続実施
			(団体貸出の調査) (49) 団体のニーズ把握に努め、協力貸出による資料提供の可能性を検討します。《(32)の再掲》	《(32)と同様》	C	B	ニーズ把握のため、都道府県立図書館について運用状況調査を行うことができたため。	完了
			(事業年報・館報の刊行) (50) 「事業年報」及び館報「あゆち」の発行については、昨年度並みの時期の発行を目指すとともに、内容について、時宜に即したものとするようにします。	○事業年報(10/29付刊行) ○館報「あゆち」(3月刊行)	A	A	予定通り刊行し、あゆちの内容について県政150年を意識した内容とすることができたため。	(事業年報・館報の刊行) (44) 継続実施
	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化	県図書館の活動を県民に知ってもらい、身近な存在となるようホームページ、ソーシャルネットワークサービス(SNS)や動画サイトなど様々なメディアを活用し、広報活動の強化に努めます。	(SNSの活用) (51) 引き続き既存のSNS(Facebook、Twitter)の内容の充実を図るとともに、新しい種類のSNSの活用を検討し、フォロワー数の増加(5%)を目指します。 ・2023年度末時点でフォロワー数について2018年度(1,661人)比27%増とする。	○1日1冊を目途に電子書籍の紹介をツイッターで紹介している。 ○3月末現在フォロワー数:2,345人	A	A	電子書籍の紹介によりSNSの内容充実を図り、フォロワー数が前年度の10.4%増、2018年度の41%増となったため。	(SNSの活用) (45) 継続実施
			(52) New! 新しく導入した電子書籍サービスの一層の利活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。	○1日1冊を目途に電子書籍の紹介をツイッターで紹介している。 ○県内ファミリーマートに電子書籍のポスターを掲示した。 ○電子書籍の提供元である紀伊国屋書店の県内店舗(3店)で電子書籍のポスターを掲示した。 ○企画展示「電子書籍サービス1周年!「てのひら図書館」」を開催した。(1/14~3/1)	—	A	ツイッターを活用したPRの方策を検討し、実施することができたため。	(46) 継続実施
			(ホームページの見直し) (53) 当館のホームページについて、見やすく親しみやすいものにするため、見直しの検討を開始し、作業に着手します。	○展示イベント一覧へのリンクをトップページに追加し、現在開催中の展示・イベントが一目でわかるようにした。 ○今年度新たに始まったサービスについて、トップページにバナーやリンク先を追加した。 ○「やさしいにほんご」を用いた図書館案内ページを作成した。	A	A	大幅な見直しは予算面で不可能だが、課題点を洗い出し、自館作業で可能な部分については、見やすくなるように随時改訂し、新たなページの作成も行ったため。	(ホームページの見直し) (47) ホームページについて、トップページのバナーの配置などを見直し、情報が探しやすくなるように改訂します。
			(主要紙での広報)【運営指標】 (54) 主要紙での広報について、県図書館の取組みを伝えるもの(企画展示の案内を含む。)が80%以上となるようメディアに働きかけます。	○プラス評価の記事の割合:78.6%(33件/42件)	A	B	主要紙での広報について、県図書館の取組みを伝えるものが80%をやや下回る数値となったため。	(主要紙での広報)【運営指標】 (48) 継続実施

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				2022年度の事業計画	
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		理由
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化	<p>県図書館の活動を県民に知ってもらい、身近な存在となるようホームページ、ソーシャルネットワークサービス（SNS）や動画サイトなど様々なメディアを活用し、広報活動の強化に努めます。</p>	<p>(電子書籍サービスのPR) (55) New! 新しく導入した電子書籍サービスの一層の利活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。《(52)の再掲》</p>	《(52)と同様》	-	A	多様な人が利用するコンビニエンスストア、本に関心のある人が集まる書店、ツイッター、そして館内という複数の場でPRを行うことができたため。	<p>(電子書籍サービスのPR) (49) 継続実施 《(46)の再掲》</p>
			<p>(会議やアウトリーチ活動等での広報) (56) 引き続き、会議や研修、アウトリーチの場を使い、県図書館の広報に努めます。</p>	<p>○6月に県内ファミリーマートで電子書籍のポスターを掲示。電子書籍の提供元である紀伊國屋書店の県内店舗（3店）でもポスターを掲示。 ○久屋ぐるっとアートで「愛知県図書館開館30周年記念展」を実施。(11/3~11/7) ○高校生ビブリオバトル愛知県大会で県図書館を紹介。(11/3) ○県政お届け講座（豊橋西高等学校）を実施。(10/27)</p>	A	A	研修などで県図書館の紹介を行ったほか、久屋ぐるっとアートで開館30周年の展示、ファミリーマートでのポスター掲示などアウトリーチの場による広報を行ったため。	<p>(会議やアウトリーチ活動等での広報) (50) 継続実施</p>
			<p>(開館30周年事業の実施) (57) 2020年度に立案した記念事業について、順次着実に実施していきます。</p>	<p>○以下の記念事業を実施した。 ・企画展示「大人も読もう！子どもの本」(3/19~5/12) ・企画展示「話題になった本で振り返る平成の30年」(3/19~6/9) ・愛知県図書館開館30周年記念展(4/9~7/7) ・AV室展示「音楽で振り返る30年」(4/9~7/7) ・開館記念しおり配布(4/20) ・企画展示「第165回芥川賞・直木賞候補の作家たち」(6/25~8/11) ・第1回リベラルアーツカフェ開催（講師：県立芸大・井上さつき教授、演題：楽器大国ニッポン）（※開館30周年記念）(7/21)（参加者：50人） ・企画展示「地域資料展示 尾張の村々」(8/13~12/8) ・企画展示「雑誌で振り返る30年」(8/13~3/1) ・「ノーベル賞と30周年記念展示」(9/10~11/10) ・開館30周年記念講演会「公共図書館の過去・現在・未来～いかにして「知の拠点」となり、コロナ禍を乗り越えていくのか」(10/29)（参加者：80人） ・久屋ぐるっとアート「愛知県図書館開館30周年記念展」(11/3~11/7) ・企画展示「開館30周年記念・あいちものづくり—伝統・未来—」(11/12~1/12)【連携：県産業振興課】 ・開館30周年記念・建築ワークショップ「くつろぎハウスをつくろう！」(11/27)【共催：JIA愛知】（参加者：20人） ・第2回リベラルアーツカフェ（講師：県立大学・村上和人教授、演題：甦る過去のイメージ～白黒写真（画像）のカラー化）（※開館30周年記念）(12/1)（参加者：34人） ・企画展示「第166回芥川賞・直木賞候補作家たちと過去30年の受賞作」(12/25~2/9)</p>	A	A	立案した記念事業について、着実に実施することができたため。	完了

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
3	ネットサービスを広げる形成図書館	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化 県図書館の活動を県民に知ってもらい、身近な存在となるようホームページ、ソーシャルネットワークサービス(SNS)や動画サイトなど様々なメディアを活用し、広報活動の強化に努めます。	(利用者参加型の企画の実施) (58) 「図書館探検ツアー」やワークショップなどの利用者参加型企画について、安全対策をとり再開する準備をします。	○開館30周年記念・建築ワークショップ「くつろぎハウスをつくろう!」を実施。(11/27) (参加者: 20人) 【共催: JIA愛知】	-	A	感染症拡大防止対策を徹底して、小学生を対象としたワークショップを実施したため。	(利用者参加型の企画の実施) (51) 継続実施
			(文化芸術機関等との連携) (59) 愛知芸術文化センター(栄施設)の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会等の企画展示を実施します。《(44)の再掲》	《(44)と同様》	A	A	愛知芸術文化センター、陶磁美術館、愛知県立大学、愛知県立芸術大学などの専門家による講演会、並びに障害福祉課との連携によりアート雇用の障害者による作品展を実施することができたため。	(文化芸術機関等との連携) (52) 継続実施 《(39)の再掲》
4	図書館活動を支える県図書館の体制の整備	⑨ ものづくり文化、地域資料などの専門的資料の収集と提供 改正した収集方針等に基づき、ものづくり文化資料、地域資料等を重点的に収集し提供します。また、拠点図書館として市町村立図書館の蔵書を補完する役割を果たし、県図書館ならではの専門的資料や研究書等を中心に充実した蔵書を収集し提供します。	(蔵書検索アクセス数) (60) 本県の特性に応じた、県図書館らしい蔵書構築やその充実を努め、蔵書検索アクセス数を年間180万件以上となるよう努めます。(運営指標) (あいち文化芸術振興計画2020数値目標)	○年度計2,085,425件(進捗率: 116%)	A	A	目標件数を上回ったため。	(蔵書検索アクセス数) (53) 継続実施
			(重点収集資料の受入れ) (61) 重点分野の資料について、引き続き受入点数の50%以上を占めるように努めます。・5か年受入6万点(予想)のうち当該分野を3万点以上にします。	○受入点数に対して51.9%を占めた。	A	A	重点分野の受入が50%以上を占めたため。	(重点収集資料の受入れ) (54) 継続実施
			(社史等ものづくり関係資料の受入れ) (62) 社史等ものづくり文化に関する資料について、担当と協議し、100点以上の受入れを目標に、必要な資料を調査・選定し、収集・整理します。2023年度末社史については、7700点所蔵します。	○未所蔵の社史等を調査し、107件を寄贈依頼し、88件の寄贈を受けた。依頼したもの以外も合わせて113件の受入を行った。	A	A	100点以上の社史の寄贈を受けることができたため。	(社史等ものづくり関係資料の受入れ) (55) 継続実施
			(資料の充実を図る事業の検討) (63) New! 県民の方が寄附をしやすい仕組みを検討し、本の寄附を募るなど、資料の充実を図るための新たな事業の実施を検討します。	○新たな寄附制度「あいちBookサポーター」を開始した。(2/4)	-	A	新しい寄附の仕組みを検討し導入したため。	(資料の充実を図る事業の検討) (56) 寄附の仕組みを整備し、「あいちBookサポーター」制度等を活用し、資料の充実を図ります。
			(館内研修の推進) (64) 県の拠点図書館としての役割について理解を深める館内研修について、規定の回数(10回)実施できるように努めます。	○以下の館内研修を実施した。 ・図書館と博物館のDX(5/13) ・コンプライアンス研修(6月) ・レファレンス協同データベース入力説明会(6/10) ・資料保存研修(2回)(6/10, 7/8) ・防災訓練(11/11) ・筆談研修(12/9) ・県公立図書館長協議会研修配信動画上映による研修(1/13) ・図書館専門委員会についての研修(2/10) ・マイナンバーカードの図書館利用カードとしての運用について(3/10) ・図書館基本計画の策定について(3/15) ・JPマークに関する研修(3/15)	B	A	規程の回数を上回る研修を実施することができたため。	(館内研修の推進) (57) 継続実施
			⑩ 新しい取組を担う県図書館職員の育成	社会的変化や多様なニーズに応えるため、図書館サービスを効果的・効率的に行う研修や調査研究の実施に努めます。				

取組	行動目標	概要	2021年度事業の点検・評価				理由	2022年度の事業計画
			事業計画	取組状況	昨年度 評価	点検・ 評価		
4 図書館活動を支える 県図書館の体制の整備	⑩ 新しい取組みを担う 県図書館職員の育成	社会の変化や多様なニーズに 応えるため、図書館 サービスを効果的・効 率的に行う研修や調 査研究の実施に努め ます。	(DX人材の育成) (65) New! 県図書館における今後のDX (デジタルトランスフォーメーション) を考え推進できる人材を育成するため、DXを取り上げた館内研修を実施することに努めます。	○日本マイクロソフトに講師を依頼し、Web会議による研修「図書館と博物館のDX」を実施した。(5/13)	—	A	DXを取り上げた研修を実施することができたため。	(57) 継続実施
			(職員の研修) (66) 図書館の運営に資する統計学や広報手法等関連領域の研修 (e-ラーニング等非対面型の研修含む。) に職員の受講を促します。(目標: 延べ10人の受講)	○関連領域への研修に7件8人を派遣した。	A	B	10人には届かなかったが、必要な研修を受講させたため。	(職員の研修) (58) 継続実施
			(講師派遣・成果発表) 【運営指標・数値目標見直し】					(講師派遣・成果発表) 【運営指標・数値目標見直し】
			(67) 市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表 (会報や学協会誌等での文献発表を含む) を年間17回以上実施します。(地域の要望に積極的に応じるとともに、広報にも努める)	○23件29名の派遣・成果発表を実施した。	A	A	協議会委員、YAサービス、児童サービス、電子書籍導入などの研修講師を派遣し、その回数が目標を上回ったため。	(59) 市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表 (会報や学協会誌等での文献発表を含む) を年間20回以上実施します。(地域の要望に積極的に応じるとともに、広報にも努める)